

Sometimes you can be gone forever and still make it back in time.





INTRODUCTION

「スタンド・バイ・ミー」「恋人たちの子感」のロブ・ライナーが贈るキャッスル・ロック・エンターテインメント製作作品、「レイト・フォー・ディナー」。全米で公開されるやいなや、若者達の圧倒的支持を得て初登場第2位を記録。

監督は「ブルー・ベイカー」®等の脚本を手がけ、この作品で名匠フランク・キャプラの精神を見事に受け継いだと言われた、W・D・リクター。ジェームズ・スチュアートを彷彿とさせるような主人公ウィリーには、「レス・ザン・ゼロ」®のブライアン・ウィマー。子供のように無邪気なフランクには「ショッカー」®のピーター・バーグ。ウィリーの妻ジョイには「ミラーズ・クロッシング」®で今注目のマルシア・ゲイ・ハーデン。そして、悪徳不動産屋ボブに「セックスと嘘とビデオテープ」®のピーター・ギャラガーと若手実力派が見事な演技アンサンブルを披露。更に音楽に「天国の門」のデビッド・マンスフィールドが加わり、ノスタルジックな雰囲気をいっそう盛り上げている。



Late for Dinner

This could be magic. ——それは魔法のような出来事…

"AN ABSOLUTELY DELICIOUS MOVIE WHICH IS FULL OF SURPRISES."

REX REED, NEW YORK OBSERVER

デリシャス

"おどろきに満ちた、最高に美味しい映画である"。

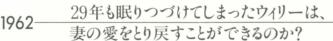
----ニューヨーク・オブザーバー紙









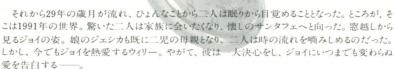


1962年。ウィリー・ハズバンド(ブライアン・ウィマー)はニューメキシコ州サンタフェで、愛しい妻ジョイ(マルシア・ゲイ・ハーデン)と娘のジェシカ、そしてジョイの弟フランク(ピーター・バーグ)と共に幸せに暮らしていた。しかし、このところウィリーは失業中で、フランクも腎臓病に冒されていたりとさえない日々が続いていた。そんなある日、悪徳不動産屋のボブ・フリーマン(ピーター・ギャラガー)が家を手放すよう迫ってきた。仕方なく応じたウィリーだったが、陰険なボブは金を渡すまいと、ウィリー達を息子ドナルドの誘拐犯に仕立て上げた。金の受け渡しに呼び出されたウィリーはボブの仲間に撃たれるが、自分も相手を殺してしまったと思い込み、フランクと共にサンタフェの街を去った。ロサンゼルスへ向う途中、二人はチルブレインズ(ボー・ブランディン)という医師に出会う。実は彼は冷凍保存の研究中で、言葉巧みに二人を誘い、初の実験台にしてしまう―。









キャッスル・ロック・エンターテインメント製作 配給:東京テアトル株式会社



G.W.ファンタスティック・ロードショー!

お得な前売券〈1,400円均一〉発売中

新宿東口・伊勢丹新館隣り テアトル新宿

銀座線京橋駅2番出口上る 銀座テアトル西友